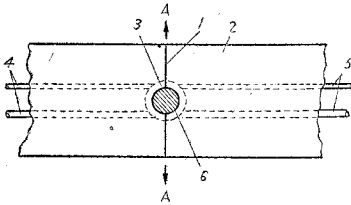


冷却芯材によるコンクリート構築法

特公 昭 34-4874

発明者 谷 合 昇

エンドレスまたは有端鉄筋の任意部分に巻回部を設け他の筋材の巻回部と重ね合わせ、別に冷却時にその外径が常温時の前記巻回部の内径に等しい太さの芯材を冷却して、この重ね合わせ部に挿着し芯材の常温復帰による膨張によつて筋材に内力を生ぜしめ、これをコンクリート体に作用させるようにしたものである。図示のものはコンクリートブロック(2)の接続部に本発明を実施したもので、ブロックの端面には半円形の溝がさく設けられていて、この部に筋材の巻回部が半円部を露出するようにして埋設されている。



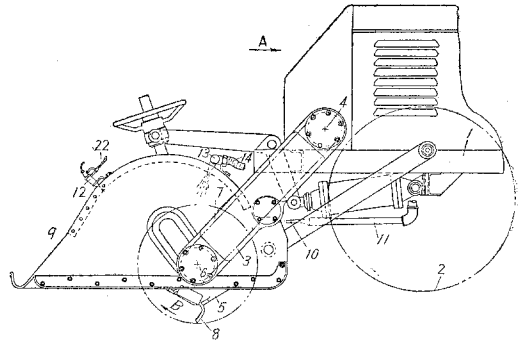
路層破碎混合均整機の瀝青および乳剤の加熱散布装置

特公 昭 34-5793

発明者 乳 井 栄 蔵

台車(1)上の発動機によつて回転されるスパイク(8)付ローター(5)をおおう覆蓋(9)上に、ローター周辺に路床土と混合されるべき瀝青乳剤のような補充剤を供給するノズル(13)と、ローター後方へ高温の空気を供給する加熱圧縮空気供給器(12)とを備えたものである。スタビライザーの改良で、加熱空気の熱は土と瀝青材料と

に与えられその混合効果を良好にする。

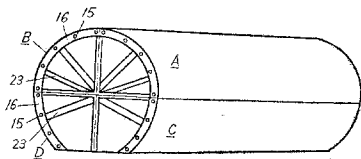


地中に大径横孔を設ける方法

特公 昭 34-5794

発明者 沼 田 幸 造

地下に大径管を埋設する場合その埋設管を挿入するための大径孔を地中に設ける方法であつて、前方が開口し外側に土砂支承板を有する掘進筒A~Dを内側面が互いに接するように集合して掘進筒群を構成し、各掘進筒の後部にそれらと同じ構造の推進用ブロックをそれぞれ当てがい、掘進筒の各列を順にブロックの長さにはほぼ等しい距離ずつ地中に向つて押し進めながら、掘進筒の前方開口部より土砂を掘削し、各掘進筒の列には押し進むごとくに新たにブロックをつぎ足し、このような作業をくり返して掘進作業が終了したら、各ブロックの土砂支承板を互いに連結してそのまま土中に残し、各ブロックの内側面の部材を取り除いて地中に孔壁の補強された横孔を形成する。各ブロック間を作業員が自由に通れるように内側面は型钢等でわく状に作るのがよい。



(特許庁審査二部 染谷 広司)

日本学術会議 第5期 会員選挙立候補者推薦について

当学会は7月27日の理事会において、標題の件につき協議の結果、立候補者の推薦を次のとおり決定したのでお知らせします。

(全国区) 石原 藤次郎 昭和5年京大卒, 工学博士, 京都大学工学部長, 京都大学教授

(全国区) 福田 武雄 大正14年東大卒, 工学博士, 東京大学生産技術研究所長, 東京大学教授